

## 平成31年度児童・生徒のボランティア体験学習実施要領

### 1 体験学習の実施手順

手順	実施内容
4月	実施日時・内容等の調整及び決定 *各学校より提出されました計画書を基に、講師と調整し内容を決定します。
実施1ヶ月前	学校、講師、社協との事前打ち合わせ
実施前日	実施前日に最終確認
終了後1ヶ月以内	完了報告書の提出（助成金交付学校のみ）

### 2 体験学習の内容

区分	内容・テーマ	講師	講師補助に必要な人員
聴覚障がい の理解	① 手話体験 ・手話で話してみよう ・聞こえない人の生活について知ろう	千歳聴力障害者協会	/
	② 要約筆記体験 ・聞こえない人に書いて伝えてみよう	千歳要約筆記の会「やませみ」	
視覚障がい の理解	③ 視覚障がい者ガイドヘルプ体験 ・視覚に障がいのある人の案内方法について ・視覚に障がいのある人の生活について ・白杖体験（杖を用いて歩行する） ※授業場所：体育館（準備のため授業開始1時間前から確保願います。）	千歳視覚障害者福祉協会	3～4名
	④ サウンドテーブルテニス体験 ・アイマスクを着用し、視覚に障がいのある人が楽しむ卓球を体験 ・視覚に障がいのある人の生活について		/
	⑤ 点字体験 ・点字の読み/書き、点字の絵本製作等	千歳視覚障害者福祉協会 千歳市点訳赤十字奉仕団	2～6名
身体障がい の理解	⑥ 車いす乗車・介助体験 ・車いす乗車・介助体験 ・車いすの生活について ・車いすに乗車して鬼ごっこ等のゲーム	①濁沼 勇氏 （車いすユーザー） ②北海道千歳リハビリテーション大学	2～4名
	⑦ 車いすサッカー体験 ・車いす乗車・介助、サッカー体験 ・車椅子利用者の生活について	電動車いすサッカーチーム free crew	2名 (内容により3名)
	⑧ ポッチャ体験 ・重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目 ※授業場所：体育館（準備のため授業開始1時間前から確保願います。）	千歳身体障害者福祉協会	2～5名

区分	内容・テーマ	講師	講師補助に必要な人員
高齢者の 方の理解	⑨ 高齢者疑似体験 (対象：小学校高学年以上) ・高齢者疑似体験セットを装着して高齢者の体の衰えや生活を知る	千歳 認知症の人を支える家族の会(はまなすの会)	1～2名
	⑩ 認知症サポーター養成講座 ・認知症や認知症のある人について理解する	千歳市介護予防センター (認知症キャラバンメイト)	
	⑪ 福祉に関する講話、介護体験等 ・ボランティア活動やご希望のテーマに沿った内容(1時間程度) ・福祉施設の専門職による介護体験や疑似体験、車いす体験など分かり易く指導します。	ちとせの介護医療連携の会 わかばの会	

### 3 講師謝礼について

**手話体験**：講師(千歳聴力障害者協会)との取決めにより、1日5,000円が必要となります。

**その他授業**：各講師との取決めはございませんが、上記と同額程度をご用意いたします。

(謝礼の支出が難しい場合は、後述の助成事業をご利用ください)

※1 「認知症サポーター養成講座」は、謝礼の必要はございません。

※2 同一の授業を2日間にわたり実施する場合は、各日ごとに謝礼金が必要となります。

### 4 講師補助者について

講師の補助をして頂ける方の確保について、ご協力をお願いします。

### 5 貸出物品

福祉用具等を貸出します。なお、搬入・搬出は、学校にて対応いただきますようお願いいたします。

- (1)車いす           (2)白杖           (3)点字盤セット           (4)アイマスク  
(5)スロープ       (6)高齢者疑似体験用具

### 6 助成事業について

学校・PTA等が実施するボランティア体験学習に対して、講師への謝礼や教材費等の経費の一部を、20,000円を上限に助成しています。様式(申請用紙等)は、本会ホームページからダウンロードできますので、是非ご利用ください。

### 7 留意いただきたい事項

- ・手話体験を希望される場合は「千歳市通訳者等派遣依頼書」の提出が必要となりますので、事務局までお知らせください。
- ・体験学習の内容については、変更が生じる場合もあります。
- ・毎年、10月から12月に依頼が集中しており、講師の都合等で希望に添えない場合がありますので予めご了承ください。

8 **回答期限**       平成31年4月10日(水)

9 **問合わせ先**   千歳市社会福祉協議会 千歳市ボランティアセンター(担当：長澤、田村)  
千歳市東雲町1丁目11番地 TEL：27-2525 FAX：27-2528